

未来にはばたけ 希望の九小



11月

令和4年10月31日(月)

府中市立府中第九小学校

校長 生井 信太郎

行事と授業

校長 生井 信太郎

10月22日に行われた運動会は、3年ぶりに保護者、地域等の皆様に直接ご覧いただきました。感染症対策のため、参観者の入れ替え、団体競技は行わない、児童は出番の時のみ校庭に出る等、従来の運動会の姿とは異なった形での開催ではありました。しかし当日は、練習を重ねて身に付けた力を発揮しようと短距離走や表現に本気で取り組む子供たちの姿が見られました。「行事で子供は育つ」と言いますが、全くその通りだと実感しました。当日、多くの方々に直接声援を送っていただいたことは、子供たちにとって大きな成長の糧となりました。ありがとうございました。保護者の皆様には、入れ替え制に伴う一方通行など初めての動きが多くありましたが、きちんと対応していただきました。大変ありがたかったです。様々なご協力いただいた全ての皆様に心より感謝申し上げます。

担任時代に、算数の実践で有名なある先生に研修の一環で「飛び込み授業」をやってもらったことがあります。飛び込み授業とは他校の教員に、いきなり自校の学級に入ってもらって授業をしてもらうことです。5年生の授業を校内の教員が参観しました。これが予想をはるかに上回るすばらしい授業でした。その先生の指示、発問で子供たちがどんどん動き、変わっていくのです。課題に向けて自ら考え、進んで表現する姿にみるみる変容していきます。そして実に楽しそうなのです。グループでの話し合いも大いに盛り上がります。知的に興奮し、主体的に生き生きと学びを深める子供たちの姿がそこにはありました。

その先生が授業中に発した言葉や、そのあとの協議会での言葉のメモが残っています。

- ・(「〇〇さんと同じです。」と答えた子に)「『同じです。』なんて言わなくていい。違うことにこだわらなさい。」
- ・「『もしも〇〇だったら』といつも考えてごらん。」
- ・「課題について隣の人と話してごらん。」→「ストップ。」→子供たちまだ話し合っている。→「『ストップ』と言ったんですけどまだ一生懸命説明していますね。」
- ・間違えている子の味方でありたい。
- ・「もし〜だったら」等の言葉、拾って価値づける。「今の、いい言葉だったでしょ。」
- ・全員が活動しなければ意味がない。 等。

「こういう授業ができるようになりたい。」と強く思ったものです(全然たどり着きませんでした)。

学校で一番多く時間を費やしていることは、言うまでもなく授業です。本校でも、こうした、練りに練られた授業のデザイン、選び抜かれた言葉の数々、全ての子供たちを認める温かいまなざし、学ぶとは楽しいことなのだという確固たる意志、そして教師として常に学び続ける姿勢等を大事にする姿勢を教員が身に付け、より良い授業をめざすよう一丸となって努力してまいります。